

出産費用のご案内

妊婦健診費用のご案内

妊婦初診料 6千円

妊婦再診料 2千5百円

妊婦健診料 0円～3500円 (福岡県内の受診券)

(自治体から配布される母子健康手帳に付属する受診券を使用する場合)
受診券(①～⑭まで14枚)使用時の差額徴収料金：妊婦健診時に使用する受診券の種類により、0円～3500円に変動します(福岡県広域連合受診券の場合)

正常分娩費用のご案内

※出産育児一時金の直接支払制度の利用をお願いしております。

正常分娩(経膈分娩)(モデルケース)

入院期間：5日間(3人部屋)

入院費用：46万円～

正常分娩(経膈分娩)(モデルケース)

入院期間：5日間(個室)

入院費用：49万円～

※初産婦さんの入院期間は6日間が基本ですが経産婦さんと同様5日間に短縮できます。

出産時間延長加算：正常分娩での分娩時間が長時間を要した場合(入院時刻から出産時刻までに24時間以上かかった場合)に1万円の加算があります。

時間外入院時刻加算：正常分娩での入院時間が時間外の場合 1 万円の加算、深夜の場合 3 万円の加算、休日の場合 2 万円の加算になります。

時間外分娩時刻加算：正常分娩での出産時間が時間外の場合 1 万円の加算、深夜の場合 3 万円の加算、休日の場合 2 万円の加算になります。

時間外・休日・深夜加算の時間帯について

- ① 時間外加算の時間帯 午前 8 時以前と午後 6 時以降
- ② 深夜加算の時間帯 午後 10 時から午前 6 時
- ③ 休日：休日とは日曜日と祝日と当院が決めた休診日（年末年始など）となります。

※当院の指示で正常分娩の計画誘導分娩の入院時間が時間外になる場合は時間外加算はありません。

※入院費用は上記に加え、妊婦さんが産褥社さん（胎盤処理業）に支払う胎盤処理料、産褥用ナプキンや哺乳瓶、ミルク、紙おむつ代など追加で購入された金額が加算されます。

室料差額について

お部屋の広さや設備などで病室を分類し 1 日あたり 8 千円・6 千円・4 千円・2 千円・0 円の室料差額料に病室を分類しています。

特別室 308 （室料差額 8000 円）

A 室 301 302 （室料差額 6000 円）

B 室 303 311 （室料差額 4000 円）

C 室 312 316 317 318 （室料差額 2000 円）

前受金制度について

分娩予約金として前受金 5 万円を福岡銀行のあまがせ産婦人科の口座に振り込みをお願いします。（振り込み手数料は妊婦様負担）妊娠 32 週 6 日までが振り込み期限です。医学的理由で転院し、当院での分娩ができなくなった場合はご返金しております。

無痛分娩の費用

無痛分娩の基本料金：12 万円

※予定外に硬膜外穿刺・腰部カテーテル挿入を行う場合は、時間外料金は 1 万円、深夜料

金は3万円、休日料金は2万円が追加料金として加算されます。

※計画分娩で入院後、結局分娩に至らず、硬膜外カテーテルを抜去して一時退院となった場合などの費用は12万円ではなく、無痛分娩手技管理料として4万円となります。また、再入院時に再度腰部硬膜外穿刺とカテーテル留置を行った場合は8万円かかります。

帝王切開分娩費用のご案内

※出産育児一時金の直接支払制度の利用をお願いしております。

選択的帝王切開分娩（予定された帝王切開）（母児合計）（モデルケース）

入院期間：8日間

入院費用：57万円～（区分（エ）に該当するかた）

実際に窓口でお支払いいただく入院費は2万円～となります。（前受金と直接支払制度利用あり）

入院費用：59万円～（区分（ウ）に該当するかた）

実際に窓口でお支払いいただく入院費は4万円～となります。（前受金と直接支払制度利用あり）

※予定（選択的）帝王切開術（母体と新生児を合わせた合算額・一部自費含む）の費用はベビーが自費診療で6日入院した場合で、限度額適用認定証を利用した場合です。予定帝王切開の場合、帝王切開分娩の前日に妊婦さんが入院となります。

※出産育児一時金の直接支払制度の利用をお願いしており、このため実際に窓口でお支払い頂く予定帝王切開の入院費は2万円～(区分エ)、4万円～(区分ウ)となります。

帝王切開分娩は療養費が高額になりますので、退院時にお支払いが減額される高額療養費制度の「限度額適用認定証」をご利用下さい。ご利用方法などを窓口でご案内します。

緊急帝王切開の場合（7日間入院・母児合計）は区分（エ）でも区分（ウ）でも直接支払制度の利用で実際に窓口でお支払い頂く入院費は約5万円前後になります。（前受金と直接支払制度利用あり）

※入院費用は上記に加え、妊婦さんが産褥社さん（胎盤処理業）に支払う胎盤処理料、産褥用ナプキンや哺乳瓶、ミルク、紙おむつ代など追加で購入された金額が加算されます。

※正常分娩や正常新生児の場合、入院期間を延長する場合は母児ともに1日当たりの入院費用が変わります。詳しくは窓口にてお尋ね下さい。

入院中のオプション検査・オプション薬剤料

AABR 検査（新生児聴覚スクリーニング検査）（入院中） 5千円

（福岡市や筑紫地区では公費助成が行われています。所属する自治体での公費補助額をお問い合わせください）

風疹ワクチン接種（入院中） 7800円

（大野城市では令和4年度は上限1万円まで風疹HI抗体32倍未満の方に公費補助されます、所属する自治体での公費補助額をお問い合わせください）

拡大新生児マススクリーニング検査<ライソゾーム病・重症複合免疫不全症（SCID）・脊髄性筋萎縮症（SMA）>（入院中）1万1千円

K2シロップ（10回分）（入院中） 1100円

プロウベス（子宮頸管熟化剤）（腔内留置用製剤） 3万円

<2023年（令和5年）4月1日掲載>